

**あ**

明るく

た

楽しく

ま

前向きに

令和4年6月16日発行
校長 福地 裕之

～ちょっといい話～

四中の給食を担当している先生が、先月、ちょっとしたけがをされました。ある日、けがの痛みで辛そうに道を歩いていると、野球部員（5人）から、次のような声をかけられたそうです。「腰を痛めてしまったのですか？」「けがのほうは大丈夫ですか？」「早く治してください！」「お大事にしてください！」とすがすがしく。その声かけによって、早く治して、四中の子どもたちの給食を衛生的に確実に配食して、子どもたちの健康の保持増進の一助になりたいと感じたそうです。この一声が間違いなく、元気づけ、けがを早く治してくれたに違いありません。ちなみにこの先生のけがは完治しました。

「働き方改革」

昨今、学校を取り巻く環境が複雑化・多様化し、学校に求められる役割が拡大する中、先生方の多忙化が大きな社会問題にもなっています。学校は、様々考えられる働き方改革をすることによって、何より先生方が子どもたちとじっくりと向き合う時間を確保することが大切であると考えています。福島市としてもいろいろな取り組みを行っているところではありますが、四中の先生方は子どもたちと向き合う時間をとるために、授業や部活動、休み時間などを活用しているところです。子どもたちに少しでも寄り添うことができる働き方改革でありたいと思っています。

「中体連大会」

支部大会も終わり、6月21日（火）からは、いよいよ県北大会となります。今年度の支部大会の結果は、おそらく四中始まって以来の好成績であり、多くの部が県北大会に進みます。私が大切に思っていることは、結果として勝ったとしても、負けたとしても、一番は勝とうとする気持ちだけは、どこの学校にも、どこのチームにも負けないでほしいということです。特に3年生にとっては、基本的に最後の大会で、勝てば、その分、長く部活動ができるわけですから。上に書いた「働き方改革」にもあるように、四中の先生方は部活動に付きっきりで子どもたちに向き合っています。きっと、好ゲームを展開すると確信しています。